

フィレンツェ便り 百合通信

ゆりつうしん



笑顔リレー

私たちは、ご入居者のご家族との
ふれあいを大切に、
笑顔のリレーをつなぎます。



リニューアルに向けて

平成27年 4月	リフト浴槽導入
平成27年 7月	全館空調入替
平成27年 11月	共有スペース(レセプションルーム・売店・美容室)改修
平成27年 12月	介護棟廊下床改修・2階談話室改修
平成28年 7月	全館天井クロス補修工事
平成28年	全館壁洗浄工事
平成28年 8月	2〜6階 床改修
平成28年 8月	大規模修繕工事(外壁下地補修・タイル、吹付面補修・外壁鉄部塗装・バルコニー防水工事等)

(12月末終了予定)足場の作業は年内終了予定となります。

来春にリニューアル工事完了予定となります。工事期間中は、ご入居の皆様方にご協力いただき感謝申し上げます。

各階床改修

外壁補修

編集後記

フィレンツェライフ青山も設立より24年目を迎えます。社会情勢や介護保険の仕組みも変わる中、時代の流れと共に変化と要求に合わせて歴史を刻んでまいりました。建物に関しても、定期的な点検や調査診断を行い、適切な時期と方法で、昨年度より約1年掛けて大規模修繕を行っております。「修繕」から「リニューアル」へ(古いものから新しいものへの交換)装いも新たに、フィレンツェライフ青山の伝統を残しつつ心地良い空間で心のこもったサービスを追求してまいります。

フィレンツェライフ青山
百合通信 編集担当



フィレンツェライフ青山が『老人ホームランキング』で大阪府下**2位**を獲得!

笑顔リレー

「年を重ねただけでは、人は老いない。理想を失う時初めて老いる」
サムエル・ウルマンの「青春」という詩の一節です。この詩は、松下幸之助氏も好きで墨書し額に入れ人々に配ったそうです。
戦前の日本では、平均寿命が五十歳を超えることはなく、今や男性の平均寿命は八十歳を超え、女性は、九十歳に近づきつつあります。長い人生の午後を充実させるには、何が必要なのでしょう。

フィレンツェライフ青山の二十四年の歴史の中には、息を引き取る寸前まで理想を失わず周囲の人々を「笑顔」で励まされてきた方々が沢山いらっしゃいます。
年齢を重ねて到達する境地でしょうか、まるで「死」は生命の一部と肯定されているような景色です。

「死」を意識される方は、「生」を充実させることも忘れません。
私達職員は、このようにご入居の方々から「笑顔の大切さ」など多くの事を学ばせて頂いております。どれほど勇気づけられることでしょうか。
報恩感謝の思いで一杯です。

施設長
尾谷 弘美



何でも語り合える雰囲気がある所は、明るく楽しい進歩と理想があります。
ご入居の皆様と日々、心弾むやりとりで「何でも話そう」という安心感を持つて頂くために、ご家族のような思いでコミュニケーションをとること。聞き上手であること。同苦の心を持つこと。そして目を見て、相槌を打ち、微笑みを忘れない。そんな一人ひとりの職員が「笑顔リレー」で、皆様とバトンを交わし続けたいと願っております。

あの人に インタビュー

ご主人 N・M様 (写真中央)
奥様 N・H様 (写真右)
ご長女 N・K様 (写真左)

フィレンツェライフ青山で 趣味に行事に 若返りの日々

尾谷 本日は、フィレンツェライフ青山に入居されて3年目を迎えられたN様ご夫妻にお話を伺います。ご長女のK様にもお越しいただきました、ありがとうございます。早

速ですが、こちらへの入居をお考えになつたきっかけをお聞かせ願えますか。

奥様 主人が利用していたデイサービスの職員の方からご紹介を受けました。当時の住まいはもう50年近く住んでいましたし、子どもたちも独立して遠くにおりますので、一度見に行ってみようかとなったんです。それで来てみたら、「びっくりぽん」ですよ(笑)。ホテルみたいに綺麗、リッツカールトンみたいだと。その後、宿泊体験もして入居を決めました。

尾谷 ここでの生活の中で、楽しみにされていることは何ですか。
ご主人 私はやはり、いろいろな会や催し物に参加することですね。ご存知のように、長唄や三味線、ダンスが好きなもので。





思ったんです。それでも、いざ入ると決めた時は涙が出ましたよ。家をリフォームしたばかりだったし、ご近所の皆さんにも「フイレンツェライフ青山に行きます、長い間お世話になりました、お元気で」ってご挨拶をして。でも、今は入居して良かったと思っっています。もとの自宅が近いので、今も駅の近くでご近所の方々に会うことがあって、皆さんに「若返った」「綺麗になった」と言われるんですよ。

尾谷 いつも会を盛り上げてくださってありがとうございます。

奥様 私が嬉しいのは、春と秋の遠足。この春のビール工場も良かったし、前の美空ひばり館も良かったわ。次はどこに行けるか楽しみにしています。

K様 父が言った趣味は、ここに發揮できる場があるからこそ生きてくると思うんです。いろいろと企画してくださる職員の方々に、父と母がいつも感謝しているんですよ。母が楽しみな遠足などの行事の様子も、ホームページで拝見できるから遠方にいる私も安心できます。

尾谷 そう言っていただけると本当に嬉しく思います。お二人とも毎日明るくお過ごしですが、充実した生活を送る秘訣は何ですか。

ご主人 体を動かすことですね。ここでは体操の時間もあるのがありがたい。

奥様 二人とも、フイレンツェライフ青山に来て規則正しい生活になった



N様 お願いします。

尾谷 そこまで言っていたけると施設冥利に尽きると言いますか。これからも皆様に生き生きと過ごしていただけるよう、職員一同、ますます努力して参ります。本日は本当にありがとうございました。こちらこそ、これからもよろしく

K様 入居は簡単な決断ではできないと思いますが、それだけの価値があるんじゃないかと。ただお世話してくれるだけじゃない、お一人おひとりの可能性を引き出してくださる施設だと思えますね。



K様 衣食住が整っているのは大きいですよ。自宅だと、ご飯の準備やら掃除やらに時間を取られますけど、ここに暮らしていれば家族と過ごす時間に集中できる。私も、これが実家なら月に2回も帰っているかどうか(笑)。

奥様 そうそう、それで私も、ここに入居したら一層家族愛が深まると

と思います。早寝早起き、おいしい食事。その食事も、自分で用意する必要がないから。





レクリエーション年間行事報告



お花見

4月5日

藤井寺大井浄水場 四天王寺国際仏教
大学へバスで花見へ出掛けました。
窓から見える桃
色のトンネルに
歓声が上がります。満開の桜並
木を散歩して春
を満喫してまい
りました。



新年の会

平成28年1月10日

永寿嘉福 長寿幸運をお祈り申し上げます。
2016年も輝かしい年にな
りますようにと、皆様と共にお茶席
と和太鼓でお祝い致しました。



春の遠足

5月18日

三田屋本店とキリンビアパーク神戸
生演奏を聴きながら、ゆつたりとし
た雰囲気の中で
優雅にランチを堪能
した後ビール工
場へ立ち寄り、久
しぶりの「生の味」
を楽しみました。
「最高！」



クリスマス会

12月13日

ウインドオーケ
ストラのクリス
マスコンサート
や職員によるマ
ツケンサンバや
抽選会と盛り沢
山。最後は皆で
合唱致しました。



クリスマスインナイト

12月22日

ロビーをラウンジ
に模様替え。喫茶
コーナーもこの日
はバーカウンター
へ。オープニング
シャンパンで乾杯
しました。この後
のダンスも盛り上
がります。



秋の遠足

堺利昌の杜ホテルランチツアー
平成27年10月31日・11月16日

千利休茶の湯館にて茶の湯（わび茶）
の説明を聴きながらお点前体験をし
ました。その後はシェフが焼くステー
キを堪能しました。秋晴れの下、窓
から見る海の景色も良かったです。



針テラス イチゴ狩り

5月23日

奈良の針テラスへイチゴ狩りに行き
ました。真っ赤なルビーイチゴを両
手一杯に摘まれ
練乳をかけると
甘さが増してな
お一層おいしさ
が口いっぱい
広がり皆様、笑
顔、笑顔の一日
でした。



PL花火鑑賞

8月1日

今年、心配し
た雨も止み、少
し涼しく鑑賞で
きました。美し
い花火が上がる
と歓声の声も上
がりました。カ
キ氷でもってな
し、鑑賞会を盛
り上げます。



敬老祝賀会

9月11日

軽快なリズムの阿波踊り、歌謡ショー、
日本舞踊、職員の花笠音頭等、全員
踊りで敬老の日をお祝いしました。



誕生日会

2・4・8・10月

3か月に一度お誕生日会を開催し
て皆でお祝いしております。パラエ
ティーに富んだ催しで、ご入居者と
一緒に盛り上がります。



ガーデニングと 芋の苗植

4・5・6・10・11月

青空の下、季節ごとに色とりどりの
花を植えます。土いじりをするこ
気持ちもすっきりします。大勢のご
入居者にお手伝い頂き、屋上は四季
を通じて可愛いお花が咲いていて癒
しの場となっております。花壇の奥
には芋を植え皆で収穫した後は、ホ
クホクした鳴門金時をいただきます。



ミニデイナー コンサート

7月27日

夕食にフルートの奏者をお招きしてミ
ニデイナーコンサートを開きました。
フルートの独奏
は素晴らしく、
美しい音色がレ
ストランに響き
渡り、「とても
癒された」と、
ご入居者からも
好評のお声を頂
きました。



新しいレクリエーション

New Recreation

～ レクリエーションからの贈り物 ～

身体を適度に動かすことで身体機能の維持や向上を図ります。

手先や頭を使うことで脳を活性化し、認知症の予防や認知症症状の進行を遅らせるなど効果が期待できます。

レクリエーションを通じた人とのコミュニケーションの活発化や生きがいに伴って生活の質(=QOL)の向上を図ります。

楽しみながら認知症予防をしていただけるよう様々なレクリエーションを行っております。

リズム体操

音楽を聞きながらリズムに合わせて指と腕を動かす体操を行います。呼吸も合わせて行う為、血流UP効果が期待されます。椅子に座ってできる体操なので落ち着いて楽しく身体を動かす事ができます。



介護予防カラオケ

ご入居者の声で毎週水曜日10:00からカラオケの機械「DAM」を利用して、昔懐かしの曲を歌いながら簡単な体操も取り入れ行っています。「リフレッシュ出来る」と、お声をいただいております。又、数か月に1度、DAMの機能紹介も兼ねて、ゲストをお招きして歌あり笑いあいの楽しい時間を過ごしていただいております。



その他のレクリエーション活動

- ◆ 書道の会
- ◆ お話の会
- ◆ ハッピーヨガ
- ◆ 健康麻雀
- ◆ 俳句の会
- ◆ 映画会
- ◆ 歌の広場
- ◆ 押花
- ◆ 楽華の会
- ◆ 歌声サロン
- ◆ カラオケ
- ◆ 手作りの会
- ◆ 社交ダンス
- ◆ 絵手紙
- ◆ お手玉の会
- ◆ お抹茶の会 など

特集

フィレンツェライフ青山をサポートする人々

青山グループ発祥の施設「青山病院」

当ホームの食堂で昼食をとる
青山病院の先生方

昼食時、当ホームの食堂に、お隣の青山病院のドクター達が食事に来られる姿はもうおなじみである。食堂でドクターと鉢合わせしたときに「その後具合はどう？」とお声をかけられることもあり、本当にアットホームな雰囲気だ漂っている。

これは、単に提携を結んでいるという関係以前に、お互い同じ青山グループに属しているという共通認識が「身内の施設」という意識を醸し出しているのだと思う。

そのことを象徴するような例が、内線電話である。日常の事務連絡事項はもちろん、場合によってはホームの職員が担当ドクターのピッチ(院内携帯電話)に直接内線電話で用件を伝える事もできる。

これほどまでに医療機関と密着している施設は少なく、当ホームの大きな特長の一つであり、ご入居者様に日々安心と安寧を提供する源泉でもある。

田辺脳神経外科病院

平成21年9月、応神天皇陵の西側に最新鋭の医療器材を導入し、地域の期待を込めてオープンした田辺脳神経外科病院。

「脳卒中」や「くも膜下出血」などの緊急を要する頭部の外科手術に、地域の住民からも絶大な期待が寄せられており、連日受診者が絶えることがない。

当ホームのシャトルバスも立ち寄るこの田辺脳神経外科病院は、病床50床を有し、当ホームの提携病院である青山病院と同じ「医療法人ラポール会」に属する病院である。

躍進する青山グループ

昭和57年4月、ベッド数62床で青山病院が設立され、昭和62年6月にベッド数150床で青山第二病院が設立された。

そしてグループ最初の老人福祉施設として「介護付き有料老人ホームフィレンツェライフ青山」が平成5年2月



田辺脳神経外科病院



青山第二病院

青山病院

に設立され、その後、青山グループはこの地を基点に大阪、兵庫に60にも及ぶ関連医療施設、介護施設、其の他企業体を構成するまでに至った。

母の最期を 振り返って

M・Y様

86歳でご主人とともに入居され、2015年6月に91歳で最期を迎えられたM・Y様（以下、Y様）。ご長男のM・Hさん（以下、Hさん）に、改めてY様のお話を伺いました。



ご長男、ご次男らとともに

長男の近くに…と入居

大地主の家に生まれたY様は、学校で教職を学び、繊維関係の企業で教官をされていたそうです。海軍の士官だったご主人と終戦後に結ばれ、3人のご子息を懸命に育て上げられました。詩や俳句をつくるのが好きだったというY様の才も受け継いでか、ご子息は学業優秀でそれぞれ国立大学へ。歳を重ねられてからは、坂の多い地



若かりし頃のY様

域では辛かろうとHさんがお世話されたマンションにお住まいでしたが、ご主人が不慮の怪我で車椅子となられたことをきっかけに、Hさんのご自宅から近いフィレンツェライフ青山に入居されました。

口ぐせは「自慢の息子」

入居当初は「家に帰る」とおっしゃり、職員が付き添って家を見に行つたこともありましたが、さらに、ご主人が残念ながら入居3カ月で逝去されてしまい、どんなにか力を落とされたことでしょうか。それでも、ご家族の献身的なサポートによって少しずつ施設での生活に慣れていかれたY様。毎年、お正月に3人のご子息とご家族が集まり、お部屋で

鍋パーティーを開くの何より楽しみにされてきました。「フィレンツェだからそういうことができただけですね。普通のマンション感覚だから」とHさんはおっしゃいます。普段からHさんは週に何度もお見えになって、ご家族からのビデオレターを届けられたり、Y様をお洒落な姿でイベントに連れ出されるなど、職員一同が感動を覚えるほどの親孝行をなさっていました。Y様の口ぐせは、いつも「自慢の息子たち」でした。

安心して看取りを

「最期は老衰でした。ただ眠っているだけのような状態が続いて…。大好きなミカンを枕元に持っていた時だけ、カッと目を見開いてね。」とHさん。「無理な延命はしないと云ったことが、本人にとつてどうだったのか。それは今でも疑問ですが、私たちがとってフィレンツェさんは本当に安心して任せ

られる施設でした。介護と看護の連携が良く取れているという印象です。」

人生の集大成である「最期の時」を、安心してお任せいただける施設でありたい。私たちはこれからも、その思いを強く持ち続け、より良い看取りが実現できるよう努めてまいります。イベントではご家族でご協力いただき、心より感謝いたします。



ご長男の娘婿様とともに



イベントでご長男奥様・お孫様による、バイオリンとピアノの演奏会は大好評となりました。

俳句会

第189回

季題「皐月」

日常のささやかな出来事を句にして毎月掲示しています。投稿いただいた句の一部をご紹介します。

俳句

◆ 薫風^{くんぷう}や 知らぬ幼に 手をふられ
◆ 鯉^{こいのぼり} 鱈^{たら}の谷間の 風はらみ
◆ 金波銀波^{きんぱぎんぱ} 藻^もの花踊る 流れかな

M・O

◆ さやさやと 風わたりゆく 夏きたる
◆ 風かおる さつきの空を 鯉およぐ
◆ 湯あがりの 肌こちよく かぜなぶる

K・M

◆ 五月場所 渾身の技 勝ち力士
◆ むらさきも 白もはなやか 菖蒲園
◆ 子供の日 小さくなりし ランドセル

S・Y

◆ 下町 空いっぱい 鯉のぼり
◆ ひ孫の手 つないであげる 鯉のぼり

T・M

◆ フィレンツェの 風待つ紙の 鯉のぼり

T・S

◆ さみだれを 集めて淋し よわの月

K・Y

川柳

◆ ハルカス行き イズミヤ行きに 変更し
◆ 風呂あがり 鏡くもつて 若返る
◆ 血圧計 何度も挑戦 納得し

S・Y

俳句と川柳の投句を募集しております

俳句は自然を対象に詠みます。一方で、川柳は、現代の風刺や毎日の生活の様子を書きます。ユーモアのセンスで笑いを誘うところも魅力で、川柳の句も増えてきました。ご興味のある方、初心者の方ももちろん、気さくに投句をよろしくお願い致します。